

### 3. オーガニックビレッジはまだプロジェクト

# 井関農機(株) × 島根県 × 浜田市包括的連携協定の締結

令和4年2月、持続可能な発展のための有機米の産地づくりに向けた連携協定を締結



連携協定締結式の様子



アイガモロボによる雑草対策の実証（令和4年度～）



有機大豆のブロックローテーション

# 楽天農業(株) × 島根県 × J A × 石見9市町包括的連携協定の締結

令和4年4月12日、持続可能な有機野菜の産地づくりを目指し、人材育成や生産技術の確立・普及等を進める。



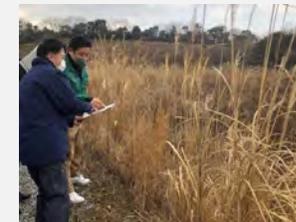
連携協定締結式の様子

## 令和4年度の取組

- 春先の余剰野菜の価値化（5トン出荷）
- 有機ブロッコリーの実証  
（新規就農者1、認定農業者4、集落営農法人1）

## 令和5年度の取組

- 遊休農地の有効活用  
6 haの農地を借上げR6から作付開始
- 冷凍カット野菜の取組  
地元加工業者と野菜の冷凍加工を検討



## 有機人参の作業機械化による生産拡大

人口減少に伴う労働力不足解消のため、  
自動操舵機械導入により経営規模を拡大



畝立て・播種・除草・収穫の様子

## 地域循環型有機質堆肥づくり

「有機野菜の端材」や「未利用魚」等の地域資源を  
原料とした有機質堆肥を産官学連携で試作



浜田だからこそできる「海」と「山」が  
つながるオーガニックビレッジ

## 粃殻燻炭の活用による地域内循環の仕組みづくり

水稻農家が処分に困る粃殻を燻炭にして、有機野菜生産者が土壌改良資材として活用



粃殻燻炭



バイオ炭講演会の様子（R5年11月）  
（立命館大学 柴田晃先生）

# 有機給食の実施等による食育・SDG s 教育の推進

市内小中学校等の給食にアイガモロボ米や有機野菜を導入



有機給食を通じて子どもと生産者をつなぐ



将来の農業・地域の担い手育成へ



次世代へ地域と農業を引き継ぐために！